

下石公第 4号
令和7年5月27日

下野市社会教育委員会議
委員長 花澤 公久 様

下野市教育委員会
教育長 石崎 雅也



下野市公民館振興計画（第三次）の策定について（諮問）

下野市公民館振興計画（第三次）を策定したいので、社会教育法第17条第1項の規定に基づき、次のとおり諮問します。

諮 問

下野市では、第二次下野市総合計画において、「生涯学習の推進」をしもつけ重点プロジェクトの一つ“人いきいきプロジェクト”として位置づけており、生涯にわたる多様な学び、活動の場の充実を図るため、ハード・ソフト両面において学習環境の向上に取り組むとともに、まちづくりへの市民の社会参加につなぐ支援を展開しています。

また、市教育委員会では、教育目標や施策の根本となる方針について定めた「第二次下野市教育大綱」及び「第二次下野市教育振興計画」を柱とし、学校教育・生涯学習・歴史文化・スポーツの分野別計画の他、その下位に位置づけられる個別計画等を相互に連携させながら、横断的な施策を展開しています。

個別計画の一つである「下野市生涯学習推進計画（第三次）」では、「生涯学習を通じたひと・まちづくり～『共に学び つながり 協働でつくる』豊かなしもつけ～」を目指し、多様な学習を通じた自己成長と自己実現、学習仲間との交流による絆づくりと心豊かな生活、学びを基盤とした地域づくりを推進しています。

これらの政策を具現化するため、生涯学習活動の中核的拠点となる公民館機能の充実を図るための長期的な視点に立った「下野市公民館振興計画」を平成30年3月に策定し、その後、令和3年3月に「下野市公民館振興計画（第二次）【令和3～7年度】」を策定しましたが、期間満了を迎えるにあたり、この度、「下野市公民館振興計画（第三次）【令和8～12年度】」の策定を諮問するものです。

策定にあたりましては、生涯学習の実施機関である公民館が、これまでの学びの場としての機能を充実させていくとともに、多くの市民が集い、いきいきと活力に満ちた地域の交流拠点として、また、シニア世代の活躍の場、地域の子どもの成長を地域で支える拠点としての機能を充実させていくため、これからの公民館が目指すべき方向性について提言願います。